

2022年9月10日

ナルク (NALC) 9月号付録

第3種郵便物

NPO法人 ナルク (NALC) 埼玉西

さい さい
彩 西

—第 239 号—

【発行】NPO(特定非営利活動)法人

ナルク(NALC)埼玉西

【事務局】〒359-1106

所沢市東狭山ヶ丘 1-45-17

田淵頼孝(代表)方

Tel 04-2926-9787

email tabutuchiyoritaka@gmail.com

急ピッチで進む超高齢社会—難題が山積

65歳以上で1人暮らしが500万世帯超える

～寂しい、気がのらない、つぶやき、貧乏暮らしなど～

東上地区(川越)菅野 愛枝

(一部、編集者が加筆)

いま、わが国社会は、世界に類をみないスピードで超高齢社会へと突っ走っています。令和3年度版「高齢社会白書」によりますと、65歳以上の高齢者がいる世帯は2070万5,000世帯。うち「夫婦のみの世帯」が619万世帯。「1人だけの単独世帯」が501万8,000世帯というのが現実です。1人暮らし世帯は、昭和61年当時128万世帯でしたが、平成7年に200万世帯へ、同13年に300万世帯、同19年に400万世帯へと急増、今では500万世帯を超えています。

配偶者を亡くし、1人暮らしの世帯が急増。でも元気で暮らしてほしい

仲のいい老夫婦も、老老介護の夫婦も、ときに喧嘩もあった老夫婦も、時代とともに1人暮らしを余儀なくされ、話し相手も少なく、寂しい毎日、テレビ漬けでは認知症予備軍入りの不安が頭をよぎります。夫婦のみの世帯も、いずれ1人暮らしの単独世帯の仲間入りが迫ってきます。孤独、孤立しやすい環境をどう乗り切るのか、健康なご夫妻も、早い段階から1人でも元気に生きていける術を考えておきましょう。

何だか、暗くて、寂しい話ですが、まあ聞いて下さい。今は、コロナ禍で人との出会いが難しく、外出も控え目となります。ですが、ナルクの中で、語り合い、笑い合うことって素晴らしいことなのです。懸命に生きてきた長い人生は、苦労もありますが、考えてみると人との出会い、繋がりに喜びがあり、輝いても見えることがあります。

私の人生 印刷会社を創り、障がい者施設を創り、駆けずり回った60年

私の人生を振り返ってみますと、20歳代で印刷会社を創り、社員の福利厚生を整えようと社会保険の加入に尽力しました。ですが、経営者(創設者)の私は、その制度

に加入できず、身体が弱く、一番必要だった私には何らの保障もない期間が続いたものです。厚生年金にも期待しましたが、安心して暮らせるほどの余裕はありません。

中年になって福祉を学び、先輩、友人らと障がい者施設を創り、社会福祉法人に昇格させるため多くの時間を費やしたものです。生活を守るため、友人も私も早々と年金を受け取り、わずかの給与で、法人の帳尻を合わせていました。その施設は内容が良く、皆さまから支持される嬉しい施設として今も成長し続けています。

87歳、夫に先立たれ、年金のやり繰りに苦勞 アンバランスな社会に苦言

ところで、90歳を前にした私(87歳)ですが、今頃になって夫に先立たれ、少ない年金のやり繰りに心細く、寂しい高齢単身世帯の仲間入りです。でも住むところも、食事にも事欠く1人暮らしの高齢者の姿をみるにつけ、アンバランスな社会を映し出す現実が私の日常を苦しめています。大切なのは、人との絆づくり、心の支え、雑談が交わせる居場所づくりです。コロナ禍でナルクも思うような活動が制約されますが、いずれ新型コロナの感染が収束を迎え、語り合える場、笑いが飛び交う場がやってくることを期待するばかりです。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

坂戸市家族介護教室 11月6日(日)午後1時半~同4時

趣 旨	第1部 認知症入門・初歩の基本から予防、認知症ケア、コロナフレイク対応などを学ぶ。認知症30問30答あり。 第2部 世界に誇る認知症に優しい街—ベルギーブリュージュ市の取り組み NPO法人フォトンの活動
日 時	2022年11月6日(日)午後1時半~同4時
会 場	坂戸市文化会館3階会議室(坂戸市元町 ☎049-282-0100)
参加費	無料(筆記用具のみご持参ください)
定 員	コロナ禍対応で、20名
講 師	第1部 秋田大学高齢者医療先端研究センター長・教授 大田秀隆教授 第2部 社会福祉法人京悠会 岡田京子理事長(所沢市下富で特別養護老人ホーム「真和の森」運営)

事前予約はナルク埼玉西拠点東上地区(坂戸)飯田の携帯まで(080-2255-7428)

特記事項 ベルギー王国ブリュージュ市で、認知症になっても住み慣れた街で暮らし続けられる活動を展開するNPO法人フォトンの姿が読売新聞1面トップ記事で紹介され(2013年、平成25年8月26日付け)、岡田理事長は逸早く現地に飛び、つぶさに体験。その後、翌年NHKが午後7時のニュースで取り上げ、衆参与野党議員らも視察に出掛けるなど大きな反響をよびました。岡田理事長は、NPOフォトンの日本版—公益財団法人フォトン・ジャパン・フレンドの代表理事も務める。